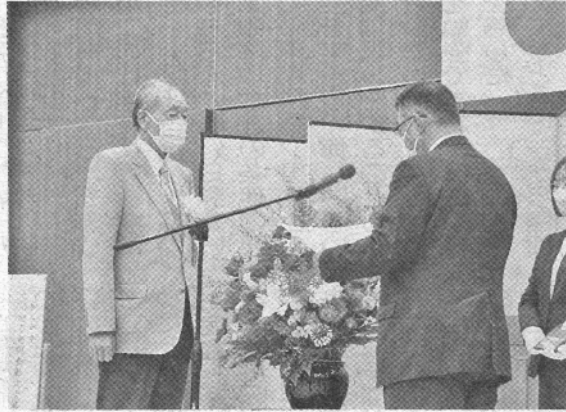


九州地方
発明表彰

日本建設技術(株)が受賞

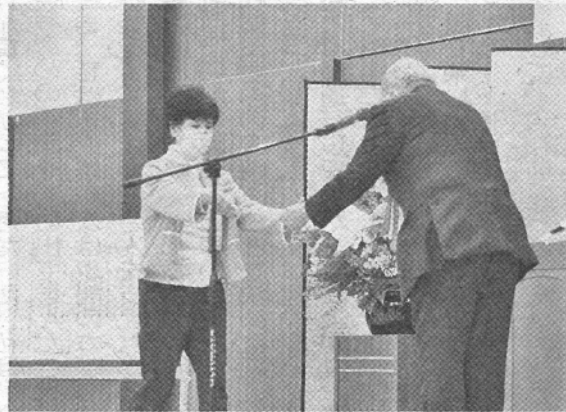
ミラクルソルの斜面緑化、脱臭剤

公益社団法人発明協会主催の2022年度九州地方発明表彰式が2日、佐賀市のグランデはがくれであり、日本建設技術株(本社・唐津市北波多、原裕代表取締役)の「FWG・ウッドチップ工法を用いた斜面緑化」が九州オープンイノベーション



▲賞状を受け取る原裕代表取締役

「靴の中や靴箱に入れて使用する脱臭剤」が佐賀県発明協会会長賞をそれぞれ受賞した。同表彰は各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として1921年から開



▲賞状を受け取る原真由美取締役

始。全国を8地方に分け、優秀な発明や考案をはじめ、発明などの指導、育成に貢献された人の功績を称え顕彰している。

表彰式では、原代表取締役九州オープンイノベーションセンター会長賞、原真由美取締役佐賀県発明協会

会長賞の賞状と賞牌がそれぞれ贈呈された。FWG・ウッドチップ工法を用いた斜面緑化は、ガラス廃材を再利用した多目的環境材料の「ミラクルソル」の保水力を生かし、施工現場で伐採した木材や間伐材などをチップ材の原料として使用。現地の発生材や間伐材などの廃材を利用することでコストダウンに繋がり、リサイクル促進や二酸化炭素のストック量増大に貢献するという効果がある。

靴の中や靴箱に入れて使用する脱臭剤は、ミラクルソルを利用した製品で、靴や靴箱に入れておくと臭いや湿気を吸収し清潔に保つことができる。製作した原取締役は「形やデ

ザインなど、女性スタッフと試行錯誤して作った製品。今回の受賞を契機に、今後も頑張っていきたい」と受賞の喜びを語った。原代表取締役は「21世紀は環境の時代と言われていた1995年からガラス廃材の再資源化に取り組み、完成した材料を『ミラクルソル』と商標名を付け、今まで開発した工法を環境緑化、環境土木、水環境、自然環境工法と区分し現在までに28工法の開発に取り組んできた。今回は、環境緑化工法の『FWG・ウッドチップ工法』を用いた斜面緑化の成果を認めていただき、あ

表彰式の様子



た工法を考案し、グリーン社会の構築に貢献できる技術の開発を行い提案していきたい」と述べた。